

平成29年12月15日

第6学年保護者の皆様

山鹿市立八幡小学校
校長 栗原豊子

平成29年度全国学力学習状況調査結果と個人票の配布についてのお知らせ

師走の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

さて、本年度4月に「全国学力学習状況調査」が6年生対象に行われました。本校では、この調査結果を分析し、課題に対する対策を考え、学校全体として学習指導の工夫・改善等に取り組むことで、児童一人一人の学力の向上を図っているところです。

つきましては、調査結果の概要をお知らせするとともに、個人票を配布いたします。今後とも、本校の教育活動に対する保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 調査目的

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ③ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査内容

- 国語A・算数A・・・主として「知識」に関する問題
- 国語B・算数B・・・主として「活用」に関する問題
- 児童質問紙・・・生活習慣、学習意欲、学習状況等に関するアンケート調査

3 学力調査の結果

- 国語A・・・平均正答率が熊本県と比べ1%、全国と比べて2.2%上回りました。
- 国語B・・・平均正答率が熊本県と比べ6%、全国と比べて5.5%上回りました。
- 算数A・・・平均正答率が熊本県と比べ1%、全国と比べて2.4%上回りました。
- 算数B・・・平均正答率が熊本県と比べ2%、全国と比べて2.1%上回りました。

4 学力調査から見えてきた課題

国語A	◇手紙の構成を理解し、後付けを書くこと。 ◇俳句の情景を捉えること。
国語B	◇話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモの良さを捉えること。 ◇目的や意図に応じて話の構成や内容を工夫して場に応じた適切な言葉づかいで自分の考えを話すこと。
算数A	◇整数×小数の計算で、小数を整数に置き換えて考えるときの、かけ算の性質を理解していること。 ◇わり算の答えを分数で表すこと。
算数B	◇仮の平均の考え方を活用した平均の求め方を説明すること。 ◇割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶこと。

5 児童質問紙の結果から、熊本県や全国と比べ、課題となる項目

- 将来の夢や目標を持っている児童の割合が少ない。
- 新聞を読んでいる児童の割合が少ない。
- 土曜日の午後、家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしている児童の割合が多い。

6 本校における学力向上対策

- ①学習に臨む心構えや望ましい学習態度を養うために「八幡スタンダード」を推進する。
- ②学校と家庭とが連携できるように家庭用パンフレットや学年に応じた家庭学習の手引きを作成し、子どもたちの主体的な学びにつながるように活用していく。
- ③算数における複数の指導者による少人数指導により、個の実態に応じたきめ細かな指導を行っていく。
- ④放課後のパワーアップやチャレンジタイムで、基礎基本の確実な定着と個別の指導を充実させる。
- ⑤新聞を図書室に設置したり校長室前に掲示したりすることで、児童が新聞にふれあう機会を設ける。